

都市交通を支える技術特集 の発刊に際して

取締役 常務執行役員 菱川 明
機械・鉄構事業本部長 Akira Hishikawa



都市交通を支える技術特集の発刊にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社は、新幹線、電車、地下鉄、路面電車などの交通にまつわる多くの製品を開発・製造しています。また自動車の ETC をはじめとする道路通行・管理システムも開発・製造しており、公共交通機関の拡大や渋滞緩和を図り、快適で安全な交通環境の整備に貢献しています。

そこで本号では、鉄道分野及び自動車分野の製品及び技術について特集いたします。

鉄道分野では、既に運行中の超低床次世代路面電車“グリーンムーバーマックス”について、その優れたバリアフリー性能を継承しながら更に車両長を短縮した“新型1000型車両”について紹介いたします。

自動車分野では、けいはんな(関西)及びマラガ(スペイン)で取り組み中の“スマートコミュニティ実証プロジェクト”について、EV に関連した道路交通分野のエネルギーマネジメントなどを解説いたします。また、シンガポールの公道において大規模な走行テストを実施し成果を上げた“全地球航法衛星システム(GNSS)技術を用いた自律型道路課金システム”について紹介いたします。

そして、鉄道・自動車分野に関連したそのほかの製品及び技術として、鉄道機器の部品加工工場で活躍している“門形5面加工機MVR-D χ シリーズ”，自動車用エンジンの開発費用を低減する可変動弁機構試験装置“エンジンバルブコントロールシステム”及び 機械式立体駐車場“リフトパーク”の搬送機構でのワイヤロープ疲労寿命評価法について紹介いたします。

今年の 10 月から当社はドメイン制を導入し、「環境・エネルギードメイン」, 「交通・輸送ドメイン」, 「防衛・宇宙ドメイン」が発足しました。9月まで機械・鉄構事業本部にあった「交通システム事業」は、「民間航空機事業」, 「船舶事業」と共に「交通・輸送ドメイン」として始動しました。

これからも私どもの活動に対しご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。